

Holistic care should be coming your way

N. Wilson

BRITISH DENTAL JOURNAL | VOLUME 223 NO. 8 | OCTOBER 27 2017

全人的医療はそこに来ている

まとめ

全身の健康と幸福に対する口腔保健の重要性を、一般医療の中に統合する緊急の必要性があることを提言する。

口腔医療を全身医療の中に統合することで、歯科チームにとって重要な機会を創造することになると提言する。

全人的医療を提供する際に、非常に必要となる人材開発をサポートする歯科教育、トレーニング、人員計画に対する新しいアプローチに光を当てる。

本論文で、Nairn Wilson は、専門分野を越えた全人的医療の提供が、全身の健康と幸福を多大に向上させるということを論じる。患者の医療全体の中での可能性を認識して歯科医療、口腔医療を行うためには、全人的医療の発展に不可欠でなければならない。

本文

あなたやあなたの家族の一員が、慢性疾患や、命に関わる疾患を患ったら、最適なケアプランを決定して個人の意見や価値を考慮しながら、その人全体に対するアプローチを、信頼のおける医療提供者にしてほしいと望むのではないだろうか？もしそうなら、ロビー活動をしていないまでも、医学の中で専門分野を越えた教育や協力を加速的に進め、全人的医療への変換に新しい、非常に必要とされている動きに対して、サポートすべきである¹。不良な口腔保健と全身疾患の関係を示すエビデンスが増えつつあることから²、歯科はそのようなイニシアチブに含まれて当然である。

なぜ、歯科医療や口腔医療は、全身の健康と幸福に乏しい関係でい続けるのだろうか？それは、医科の人たち、特に保健政策を決定する人たちに根付いてしまっている認識³のせいだろうか？それとも歯科研究を計画するための教育的な将来展望が不適切⁴なのだろうか？それとも長期的な視野で、価値を重視し、予防中心の最小侵襲介入で、患者を中心に置くという医療の潜在性を、歯科が認識するように仕向けることに、歯科専門家が失敗しているからだろうか？将来考えられるもう一つの原因は、資金である。現在、歯科が置かれている状況から、実質的に中長期的には効率性が高く節減が見込まれる大きな医療像の中に置き変わるためには、新しい資金が必要だろう。悲しいことに、程度の差はあれ、これら全ての原因によって、口腔医療の多くの部分が「歯科の地下貯蔵庫」に閉じ込められたままであると言えよう。患者の最も関心の高い方向へ向かう、高度で革新的な変化のための、ゴルディアスの結び目、つまり、千載一遇の好機が閉じ込められたままなのである。将来、コスト抑制に良い見通しができ、それに関連する利益が生じ、例えば、歯科の仕事に集まり続ける優秀な才能を育てるなど、何事も千載一遇の好機に繋げられる。

この流れの只中にある歯科において、専門分野を越えた全人的医療に署名する（サポートする）必要性をまだ確信していないのなら、「人生のための歯」と生涯に渡る口腔保健医療の提供について考慮してほしい。国連の「高官レベル」の会議で、これらのチャレンジが述べられた上で結論されたように⁵、口腔医療（歯科医療）は、「ヘルシーライフ・アプローチ」の中に統合されなければならない。それには、医療システムの変換が必要で、政府や規制の異なるレベルで調整されなければならない⁶。前方はクリアであり、中には疑いの余地もないと断言する人もいるだろうが、高齢者への高額医療費の増大に直面しながら、この種の提案に早めに行動を起こして失敗すると、既に疲弊している医療システムがひどい痛手を被るだろうということも、広く受け入れられている。

そのような中、どういうわけか、ダチョウのように砂の中に頭を突っ込み、人々は手をこまねいているようだ。困難かもしれないが、行動の必要性に顔を上げる時である。そして、権力や権威のある人たちは、効果的な変換の命令を下すべき時である。

「疑い深いトーマス」(12使徒の一人、トーマスは、自分の目でイエスを見るまではキリストの復活を疑っていた)であり続ける人へ聞きたい。変換に関わらないとしたら、歯科は将来の一般医科にどのように関係していくと言うのだろうか？遅れを取ったままで、歯科の将来に何が起こるだろうか？一般医科は、かつてないスピードでヘルスケアや、薬学関連分野の革新的なイノベーションによって変換すると予想されている⁷。口腔や歯についての知識が限定されがちな一般医科とその他のヘルスケア専門家の同僚たち⁸と同様に、歯科も、将来の一般医療の詳細とその重要性を理解するのに悪戦苦闘しがちである。このような分断があると、患者の最も関心があるところには入っていけない。ましてやヘルスケア専門家の関心にも。いつでも、どこであろうと、このような分断が存在していたり、その可能性があるならば、医科と歯科の境界線を覆って、消失させるようなアクションを起こすべきだ。

全人的医療が基準になった場合、プライマリ・ケアのセクターでどのような取り決めがなされるだろうか？一般歯科医院は全人的医療センターの中に完全に包括、統合されるかもしれない。そこでは、他のヘルスケアやソーシャルケアの全ての専門家たちと共同で仕事をするようになる。それらには、一般臨床医師、パラメディカル、一般臨床看護師、地域看護師、ソーシャルワーカー、職業セラピスト、心療セラピスト、薬科チームの全メンバーが含まれる⁹。このような取り決めのための契約や資金供給は、理想的には、一般医科と同等の契約条件を歯科メンバーも受け、現存する歯科のプライマリ・ケアのための取り決めからは、かけ離れたものになるだろう。二次医療では、歯科チームは、例えば糖尿病学チームや高齢者ケアに、現在よりもずっと密接に働くことになるだろう。地域医療現場では、プライマリ・ケアと二次医療の境界は消失していくだろう。臨床現場の焦点は、予防中心型、患者参加型の長期全人的医療に当てられるだろう。このアプローチは、Steele レポート¹⁰の勧告の多くに準拠していて、全人的という意味で、全身の健康と幸福を維持する一要素としての、口腔保健を維持する統合的アプローチである。このような取り決めに発展させた、さらなる目標は、健康格差を是正すること、非協力的で口腔と歯の疾患が高いレベルで存在する地域に資源とサービスの供給を展開すること、そして、Eヘルスを奨励・促進するための医療のデジタル化を完全に実現することであろう。

このようなゴールの実現には、一般医科臨床家が専門的なジェネラリストになるために提供されているのに匹敵する卒後教育を一般歯科臨床家（GDP）も要求することが提言される。それは、臨床現場に最も関連性の高い分野への特別な関心を高め、専門性を築く機会となる。これは、小児のケアであったり、複数疾患を有する高齢患者のケアであったり、慢性疾患患者のケアであったりするだろう。または、この特別な関心や専門性は、リーダーシップであったり、情報技術であったり、臨床研究であったりするかもしれない。キャリアの道筋に何を选ぼうと、将来の GDP は、一般医療にとって重要でダイナミックな役割となるだろう。それは、外科医を越えないにしても、患者や家族の長期的ケアに貢献するという点で、内科医と同程度になるだろう。

国の医療システムに将来予測されるプレッシャーを考慮すると、遅かれ早かれ、核心的なサービス以外のいかなる口腔医療サービス、特に、必須ではない、高度に洗練され、上質な審美性を提供するものは、自費契約で行われることになるだろう。よって、自費歯科診療保険を含めた歯科の自費マーケットは、増大を続け、おそらく、歯科界の性質と、臨床家が専門家団体に対して必要とし、期待するサポートのあり方を変えるだろう。

公立（NHS）の日常歯科診療にアクセスしづらいついていたり、それから離れている患者は、「トータルヘルス」のパッケージの一部として提供される口腔医療を求めるかもしれない。それは全身の健康と幸福を目指した予防的なメンテナンスプログラムである。このようなサービスには、NHS サービスと同じように、ある種の高度医療の提供のために専門医の協力が必要になるだろう。益々多様化し、増加しつつある人口の中で全ての人の必要性和期待に答えるために、何人の専門医が歯科の各分野に必要なのか、将来の歯科のスタッフの構成はどのようになるのかを、洗練された長期的な労働プランの下で定める必要があるだろう。このようなプランニングは、歯科チームの異なるメンバーの進化する役割と責任、将来の教育とトレーニングのあり方によって複雑になるだろう。これは、ダイナミックな技術の集合体であるが、そこで歯科臨床家が歯科チームのリーダーであり続けなければならない。

このことは、脅威だろうか、それともチャンスだろうか？確かにこれは歯科にとっては脅威である。今日、我々は歯科について、特に、従来型、受動的、機械的、「削って詰めて」の歯科として認知しているのだから。こういう歯科は益々時代遅れになるに違いない。一方、若い、将来の歯科専門家には大きなチャンスに見えるに違いない。しかしながら、各世代の将来は、彼らが何をするかによる。特に、関心が不足し、鍵となるステークホルダーが不足していると、現在歯科があるところから、将来歯科があるべき

ところへ移るには、困難が伴うだろう。とても刺激的な課題になりそうなものを実行するためには、ビジョン、信念、責任を持った新しい世代のリーダーが必要である。よって、若い将来の専門家の挑戦は、全人的医療があなたに何をしてくれるかではなく、あなたが全人的医療の将来を確固たるするために何ができるかである。

少なくとも私は、全人的な、患者全体を診る医療の一員として存在する、私の全身の健康と幸福を最適にするように目標設定してくれるという、私が希望しているこの先の歯科医療に期待している。そして、これは私一人ではないと思う。

全人的医療に興味のある方へ、2017年11月3日（金）に*the National Motorcycle Museum in Solihull, UK*にて、*the FGDP(UK)*主催、*Simplyhealth Professionals*協賛で、このトピックについての学会があります。

参考文献

省略

2018/01/18

翻訳：西 真紀子